

議 会 広 報 広 聴 委 員 会 記 録

令和3年7月28日（水）
9時00分～11時16分
全 員 協 議 会 室

【出席者】三浦委員長、西川副委員長、
村武委員、川上委員、小川委員、野藤委員、笹田委員、芦谷委員、
佐々木委員、澁谷委員

【事務局】近重係長、小寺書記

【印刷業者】株式会社タカハシ包装センター 三浦課長
株式会社キョウワ 高橋課長（ZOOMで出席）

議題

1 はまだ議会だよりVol. 62の編集について…………… 資料1

(1) 校正作業

ページ	担当委員	記事
1-5	川上委員 澁谷委員	目次、6月定例会議ポイント、トピックス、 賛否、陳情、討論、個人一般質問（7名分）
6-9	小川委員 野藤委員	個人一般質問（16名分）
10-12	村武委員 笹田委員	市民対談 まるよみ（右）
13-16	芦谷委員 佐々木委員	まるよみ（左）、委員会活動レポート、 読者アンケート、9月定例会議日程等、あとがき

(2) その他

2 はまだ市民一日議会の反省について…………… 資料2

(1) 全員協議会での意見も踏まえ、各委員から意見聴取

(2) その他

3 その他

【次回委員会開催予定日】令和3年8月25日（水） 13：30～ 全員協議会室

【議事の経過】

[13時 30分 開議]

三浦委員長 | 議会広報広聴委員会を始める。出席委員は10名で定足数に達している。

冒頭に、昨日の全員協議会では発言等でご協力いただき感謝する。今日の議題に、はまだ市民一日議会（以下、市民一日議会）の反省についての項目を設けているが、またそのときに皆と一緒に振り返っていききたい。よろしく願います。

今日の議題は、その他を含めて3点用意している。議題1から進めていききたい。

1. はまだ議会だよりVol. 62の編集について

(1) 校正作業

三浦委員長 | 校正に入る前に小寺書記から何かあるか。

小寺書記 | なし。

三浦委員長 | 事前に見ていただいているかと思うので、担当順に修正点をご指摘いただきながら進めていききたい。

《 以下、校正作業 》

(2) その他

三浦委員長 | そのほか全体を通して何かあるか。

（ 「なし」という声あり ）

では、少し宿題が残っている部分は正副委員長でまた打ち合わせをして進めていききたい。ご協力感謝する。

少し休憩を取りたい。再開を30分にする。

[10時 25分 休憩]

[10時 30分 再開]

三浦委員長 | 会議を再開する。先ほどの議会だより最後のアンケート項目についてだが、今配信してもらったとおり、議員定数等議会改革推進特別委員会と、総務文教委員会から、こういった項目で質問を設けてほしいという要望をいただいている。

特別委員会からは「現在議会改革に取り組んでいて全議員が一般質問をやっている。そういった状況を伝えながら、浜田市議会に何を望まれるか」という大きな質問。総務文教委員会からは、ちょうど幼児教育の政策研究などを行っているところで、それを踏まえて「ふるさと郷育にどのような体験があったらよいか」を聞いてみる。あとは「まちづくりの拠点として整備されたまちづくりセンターに期待されることは何か」。「浜田市をどのようなまちにしたいか」、これは市民一日議会のようなテーマの投げかけになっているが、これも幅の広い感じ。せつかく委員会から要望をいただいたので、この中から選ぶ形で進めてみたいが、ご意見を伺いたい。

西川副委員長

議会改革のほうだが、これはご想像のとおり委員長の思いがかなり入っている。以前、議員定数のアンケートを取ったときに議会改革の取り組みを一応書いて、それでご意見を募ったことがあるのでその辺と少し内容が重複するところもあるので、今回はこちらは間を置いて、下のほうを選んだほうがよいと思う。

三浦委員長

ほかにご意見は。

(「賛成」という声あり)

今の副委員長のご意見に賛同されるということであれば、今回は総務文教委員会の3項目の中から選ぶ形で進めていきたいが、この中にも具体的な質問から大きなテーマまであるので、それも踏まえてご意見を伺いたい。

川上議員

総務文教委員会の2番目、4月にまちづくりセンターに変わっているので一番順当かと思う。

佐々木委員

答えやすいのは2番だと思う。地域協議会からもまちづくりセンターについてたくさん意見が出ているので、関心が高いし答えも出しやすいかと思う。

野藤委員

今は総合振興計画の策定に入っているので、3番の質問もよいかと思った。アンケートはまちづくりセンターに置いてあるので、職員も気になるころではあると思うが、2番と3番を両方やればよい。

三浦委員長

野藤委員が言われた視点も、時期的にそうなのかと思うが、執行部でも市民に対してアンケートを取るなど、そういう場を設けていられるのだろう。市民の有志を募って。聞いた後に議会としてどうするのかという視点が、議会だよりの読者アンケートには必要だと思うので、具体的にまちづくりセンターに何を期待されるかを聞いて

- て、議員の中で執行部とのやりとりに生かしていくほうが。今のトピックスの中でも政策協議に生かしやすいかとは個人的に思う。
- 確かに総合振興計画の策定にも生かせればよいが。どう思うか。
- 佐々木委員 今言われたように、浜田市をどのようなまちにしたいかは多分大きなテーマで、いろいろな大きな話もたくさん出るとおもうが、言われても回答がしにくい、現実味が薄いことと、流れやすいようにも思う。2番なら割と回答しやすいし執行部にも提案しやすい。まさに提案すべきこととなってくると思う。2番が一番よいかもしれない。
- 三浦委員長 2番の「今後まちづくりの拠点としてまちづくりセンターに何を期待されるか」という総務文教委員会からも要望、これについて今回のはまだ議会だよりの質問に設けるということで進めてよいと思うが。
- 野藤委員 総合振興計画は今、コロナの時代で世の中が非常に変動して、アフターコロナという話もちらほら出ている。今後どうなるのだろう。地方にとっては非常に有利になるという話もある。そのときに、どういうまちにしたいかというのは必要なのでは。今一番いろいろ考えて意見が出るかと思ったので。
- 三浦委員長 確かにそういったところもあると思う。はまだ議会だよりの読者アンケート全体を見ると、自由意見を書きいただく欄は常に設けてあるので、そういったところで最近の暮らしの中で思うことや今後に期待することなども書いていただけるので。別の項目では具体的な設問のほうがよいと思う。そのように進めたい。
- では「今後のまちづくりの拠点としてまちづくりセンターに何を期待されるか」という設問を設けたい。
- 小寺書記 回答欄は自由意見と同じような形の、フリースペース形式で設けたい。
- 三浦委員長 結構である。はまだ議会だよりについては以上でよろしいか。
- (「はい」という声あり)
- 三浦委員長 では次の議題に移る。

2. はまだ市民一日議会の反省について

(1) 全員協議会での意見も踏まえ、各委員から意見聴取

(2) その他

- 三浦委員長 昨日の全員協議会での意見も踏まえ、今後の課題、改善点の共有

小寺書記
三浦委員長

時間を取りたい。小寺書記から資料の説明をお願いする。

(以下、資料をもとに説明)

発言者のアンケートグラフのほうがまとめてあるのでわかりやすいと思うが、参加のきっかけとしてはチラシ・ポスターをごらんになった方が多く、また議会だよりや議員からの案内があった方がおられる。チラシ・ポスターからが多かったのも、皆や各機関に協力いただいでチラシを貼っていただいた効果が見受けられる。

会の進行方法については良かったと答えた方が70%を超えており、どちらとも言えないと回答された方が20%。おおむねよかったのかと思うが、話しやすい雰囲気だったかは、よかったと答えた方が67%、どちらとも言えないが27%。進行方法についてどちらとも言えないと答えた方より若干増えているので、緊張や議員とのやりとりで多少ふなれな部分を感じられた方が多かったのかと思う。

気づきや発見があったかについては、93%の方があったと回答されていて、非常に高い数値が出ている。

満足度についてはとても満足53%、やや満足40%なので、9割以上の方、未回答の方以外がほぼ満足ということで、これは素直にこういう会を開催してよかったのではと受け取ってよいと思う。

推薦度やもう一度出たいかだが、勧めると答えた方67%、自分が再度出たいと回答された方も含めると7割以上の方がよい機会だったと答えている。

傍聴された方もかなり多く、発言者の関係者が来られていた傾向があるようである。見学のきっかけを見ると、知人が発言するが37%。あとは議会だより、ホームページ、チラシ・ポスターを見て来たという方も結構おられて、やはりPRの必要性があると感じた。

会の進行だが、よかったと答えた方が70%だが、改善すべき点があると回答された方が3割近くおられ、これについてはアンケートに細かく意見を書いてくださっているので、それを踏まえて皆に後から意見を伺いたい。

気づきや発見はあったかで、あったと答えた方が8割近く。満足できたかについては全部足すと8割以上。推薦度、また聞きにきたいと回答したのが半数以上。ご自身で話してみたいという方もおられた。おおむねよかったのではないかと、アンケートから読み取れる。

発言者アンケート集計は事前にごらんいただいているかと思うが、

それらも踏まえて各委員から総括的なことで結構なので、お一人ずつ意見をいただきたい。

野藤委員

最初はどうかと思ったが、全員協議会でも言ったとおり途中で人数が変わるなど、うれしいアクシデントがあった。進行をきちんとするために我々もいろいろな努力をしたし、コロナ対策をしたし、改善点もあったがそれは次につなげればよいことなので。

当日の発言者の数名と話したが、おおむね非常によかった。自分が思っていたよりも知らないことが物すごくあったと、発言後に議員と話した中で非常に参考になったと感謝されていた。

私は次につなげるべきと言ったが、広聴に関心を持っていただけでよかったと思う。

小川委員

課題・改善点については、全議員から出されている。これと重複して報告するという点でよいのか。全員協議会の中でもさまざまな意見があり、市民一日議会そのものを疑問視する意見もあった。新たな広聴機能という意味ではとても高い評価が得られるのではと思っていたが、議員が実際にやった中で、運営の部分とそれ以外と論点整理がきちんとできないまま約1時間の議論が交わされたような気がする。

私とすれば、この取り組みそのものは非常に評価できる。運用やルールの詰めが少し甘かった部分はあるが、大枠では一致できるかどうかの一つの大きなポイントになる気がする。そういう意味では出されたご意見に従って、やることについても全面的に否定なのか、やる中で工夫すればもっとよくなるもの、議員間のルールの認識などに問題がすりかわっている気がした。運用の問題点と少し分けながら論点整理しないと、今後に生かせる課題が見えにくい感じがした。

村武委員

昨日の全員協議会のことも踏まえたが、市民一日議会の開催については、この委員会でも委員で協議を重ねてきたし、全員協議会でも委員長から何度か説明があったかと思う。それを踏まえて市民一日議会の実施目的や、実施することがどうかという意見が昨日あった点は非常に残念に感じた。

この委員会の中では、市民一日議会の実施について、やらないほうがよいという意見はなかったと思っているのだが、そういう意見が出ていたなら委員会でも協議を重ねたほうがよかったのかと思う。

笹田委員

いろいろ問題点はあるかと思うが、私は発言者や傍聴者からも非常によかったという意見を聞いているので、今後ぜひ開催していただきたいが、その時点で議員からの質疑方法や、発言者人数はきちんと考えて実施しないとイケない。

やってみていろいろ課題が見えたと思うので、その課題についてどうしていくかだと思うが、この市民一日議会の意義がほかの方々にきちんと伝わってない、理解していただけなかった中で、というのが一番残念だった。最初は当委員会だけでなく議会全体として広報広聴にかかわるイベントだと思ったので、それは同じベクトルを向かないと難しいのかと改めて感じた。

もう一つは、年齢を絞ってもよいのかと個人的に思った。学生があれだけ立派な発言ができるなら。ほかの議会では子ども議会などもやっているのだから、年齢絞って学生議会のような形でやるのも手かと個人的に感じた。

ただ、このアンケートを見ると皆好意的だったので、それも踏まえながら改めて考えていったほうがよい。

今回課題が見えたところは改善すべきだと思う。

芦谷委員

広聴機能という面では大変よかったと思っている。反省点を踏まえて改善しながら前に進めていきたい。問題は頂戴した意見。大きいものも小さいものもあつたりして、議会総体として議員が共有して整理して、各委員会に分けられた。その中で市民が発言されたこと以外も含めて少し幅広く受けとめていって、それを執行部との共同作業で現状説明や回答や、きちんとした後の対応をしていただき、8月末くらいまでには質問者への回答をしたほうがよい。

いずれにせよ24人の議員が意見を出し合って、いろいろな意見を踏まえて一体どうなったかを、市民の要望を把握することを共通理解としてから前に進むべきである。

佐々木委員

今日出された資料、出られた側、傍聴する側の評価を聞くと、相当高い評価だと感じた。議会が仕掛けてこれだけ市民から評価される取り組みはなかったと思うし、今まで満足やすばらしいという言葉はなかなか聞けなかったが、今回の取り組みでこれだけ高い評価というのは、市民からすると議会を見る目が少し変わったというか、評価できるような大きな取り組みではなかったかと思う。

一方で仕掛ける側、企画する側、議会側に、昨日もいろいろ意見

が出た。最初からすごくよいものができるわけがないので、一つずつそれが解決していけばよい問題とは思いますが、これだけ評価が高い広聴の取り組みは今までなかったということのを全議員に周知して、ご意見はあろうが、議会改革とは目的ではなく手段なので、あとは議員がどれだけ市民福祉に貢献できるかの手段なので、市民一日議会も市民福祉の向上の大きな機能、議会改革の大きな一環だと思うので、皆で進めていければと思う。

川上委員

私は前期も当委員会の委員で、犬山市でフリースピーチ制度を見て、ぜひ浜田市もするべきだと述べさせていただいた。そのときにも三浦委員にお願いした。

やってみたら、これはよいものだとは明確にわかった。市民・議員も理解されたと思う。途中いろいろ問題はあったかもしれないがそれはそれとして、次はこれをどのようにつなげていくかだと思う。ご提示いただいた内容について議員がどのようにそれを反映していくかだと思う。そこがこれから必要な点だと思う。

澁谷委員

何年か前の議会運営委員会の研修会だったと思うが、そのときの講師が、広報広聴という言い方は時代を受けて、広聴広報が正しいのだという指摘があったのが印象に残っている。

市民の声を広く聞くという行動に対して、前任の正副委員長の申し送り事項に基づいて現正副委員長がリーダーシップを持って取り組まれたと思う。自分が委員長だったら多分やらないと思う。そのくらい新しくスタートする困難さに挑戦された現正副委員長に、私は心から敬意を表したい。議会活動として大変立派な行為だと思う。

新しい取り組みの中で犬山市もかなり試行錯誤されている感じはあった。我々浜田市議会は1回挑戦したことをまた検証しながら修正をかけていけば、それでよいと思う。ただ、議員が質問して話を聞くのはよいが、執行部がどこかで入ってきて、市民の質問への回答などもいただきながらという形にしていけないと、最終的には執行権のない議会が聞いてどこまでできるのかという不安がある。

西川副委員長

やってよかったと率直に思う。また先ほど委員長にまとめていただいた資料にも、参加のきっかけの半分はポスターや議会だよりだった。市議会議員からの案内が多いかと思っていたが、意外とそちらが多かった。

運営について問題があるという声が3割。これは非常に大事だと思う

っている。昨日の全員協議会の話だが、私どもとしては委員会で協議して全員協議会でお話ししていたつもりだったが、そこが伝わらなかった。駆け足で説明不足に進んだ部分もあったかと思うが、これは議会全体の問題かと思う。個別ルールなどはもちろん協議していくが、あれは別の問題だと思う。

事務局には苦勞をかけて申しわけなかった。今後続けていくにはルールをきちんと明確にして事務局の負担を少なくすることが大事だと思う。

三浦委員長

昨日の全員協議会でも各位から意見を述べてもらっているの、これ以上深掘りしなくてもよいかと思うが、皆もやってよかったという感想をもっておられるし、それは裏づけとして参加者や傍聴者のアンケート結果からも伺えるものだと思う。

小川委員が指摘されたように、やることの意味と運営上の課題は別問題であり、やったことに対してこれだけ評価、感想をいただいていることは率直に受けとめ、喜んでよいことだと私は思っている。その上でよりよくしていくために、先ほど澁谷委員からも執行部の参加があったほうがよいのでは、など、やる中で改善点はどんどん出てくるだろう。昨日指摘いただいた部分も含めて、今後広聴広報の機能をどのように高めていくか、しっかり生かしてブラッシュアップしながら、こうした広聴活動が続いていくとよいと思っている。

先ほど副委員長からは事務局への感謝の意があったが、運営するに当たり参加者とのやりとりなど大変な部分があったことを承知している。当日の運営は委員各位にもご協力いただいたことでスムーズに運営できたことを、皆に改めてお礼を申し上げておきたい。

これから議会広報広聴委員会の活動はまだ続く。引き続き、なぜ市民一日議会をやろうと思ったのか、発端の目的の部分をお忘れすることなく、広聴機能の強化、広報機能強化に、議会全体として委員会として皆と進めていきたい。引き続きよろしく願います。

アンケート結果についてはどのタイミングで共有される予定になっているか。

小寺書記

発言者の方にもう一度、やってみてどうだったかのアンケートを取るつもりである。それを回収したところで全て合わせて報告するのがよいかと今は思っているがいかがだろうか。

三浦委員長

予定どおり事後のアンケートを取った段階で皆に共有していく形

で進めたい。一つ提案だが、このアンケート結果を市民一日議会の紙面に載せたらどうかと。参加された方々がどう評価されたかを載せるとよりよいかと。情報量も写真の取り扱い方も少し意見が出ていたが、ここにグラフなどが入って、客観的な意見として入ってくると紙面としては充実するのではと思った。皆に改めてお尋ねして、その部分はグラフのところを簡易に作成するが、掲載する形で、少し正副で預かってつくらせていただければと思うがいかがだろうか。

(「大賛成」という声あり)

ではアンケート結果を活用させていただく。では総括は一旦このような形で。書記から何かあるか。

小寺書記

1点目がフィードバックのことだが、当初は全員協議会で説明していたとおり8月17日の全員協議会を踏まえて8月20日くらいをめどにお返しするようイメージしていたのだが、昨日の全員協議会で一旦各意見の取り扱いを決めたという今のタイミングで1回発言者にお返しするのも手法の一つかと思っている。8月20日よりもう少し後に各委員会などで議論がある程度されたところでもう1度するのもありかと思った。フィードバックの取り扱いについて、皆のご意見をいただければ。

2点目が課題や改善点については皆に見ていただいたと思うが、もう少し具体的なところで次の委員会で協議する形がよいのかと思ったので、その辺もまたよろしく願います。

三浦委員長

1点目の内容についてお返しするタイミングだが、昨日の全員協議会を受けて今後このようにご意見・ご要望を扱っていくということではできるだけ早くお戻ししたほうがよいのではと考えているところだが、ご意見はあるか。

澁谷委員

私も予想外の、自治区制度等行財政改革推進特別委員会に松原町のすくすく跡地の提案が振り分けられたので、どうしたものかと担当の所管課長以下3人の職員と話した。すると松原地区は以前なら第二中学や松原小があったのだが、全くなくなっていて、地域の皆からもそういうスペースが欲しいという声は聞いていると。あの場所が約5千平米あるそうで、全部をボールのスペースではなく分担して。またすくすくが移転したら基本的には解体したいという思惑もあるそうで。ただその辺は地域から正式に、例えば陳情のような公の形のものであれば当然担当課も検討せざるを得ないとのこと。

委員会としては9月8日くらいに開こうと思っており、その中で意見集約しながら、こういう形で浜田市も考えているので、地域の声を形として陳情などをしていただければ前に進むのではないだろうかという答弁をする、ということになるのかと想像している。

三浦委員長

芦谷委員からは、8月中にはという声も出ているので、私としては10月の改選までにある程度の形で。現状はここに振り分けして、今検討中くらいで8月は言っていたき、9月末までにはそういう形のものを当委員会に戻すような形になるかと。それで進めてよいのか。委員会に振られてそれぞれの進捗状況は今後、進むものもあれば、少し時間をかけて検討する必要がある事項などいろいろ出てくると思うので、まずはどう取り扱うと決定したかをお戻ししておいて、選挙もあるのでそのタイミングあたりをめぐり、今の状況としてどうだということは再度お戻しして、その後それをどう引き継ぐかも含めてお戻ししていくのが丁寧なやり方かと思う。10月までに全て結論が出るものとはなかなか思えないので、今どのようになっているかが伝わればよいかと思う。先ほど澁谷委員がおっしゃったように、今一旦取り扱いについてお戻しして、10月ごろをめぐりそのときの状況をお返しする形でよいのではと私も思う。ご意見はあるか。

(「賛成」という声あり)

ではそのように、一旦皆に取り扱いをお戻しする。その後委員会の結果を10月の選挙までに、今のメンバーの状況の中でお持ちするというので、進めていきたい。

小寺書記

そうする場合、次号のアンケートは恐らく改選前にするのがよいのか。今送ったとしても議会の振り分け先が決まったのみで、発言に対する具体的な動きなどが無い中で、発言者の方にご評価いただくのは難しい部分もあるかと思うので、アンケートについては2回目にフィードバックするときにお聞きする。

その場合に全議員にアンケートを共有するのは難しいので、現段階で出ているアンケートを、総括みたいところで共有することになるのかと思ったがいかがだろうか。

三浦委員長

小寺書記から説明があったように、アンケートはしかるべき、適切なタイミングで取るべきである。今日皆と共有した現段階のアンケート結果を全議員に共有するというのでよろしいか。

(「はい」という声あり)

ではそのように願います。もう1点、具体的な課題・改善点を今後どのようにここで出して協議していくかだが、委員改選で市民一日議会の開催について我々が申し送りを受けたように、今後引き継いでいくには残り期間の中でもう少し具体的に、感じられた部分や委員外議員からいただいた意見などを少しこちらでまとめて、皆に再度提示してご意見をいただく形で次の委員会の方々に送っていく作業はしておきたいと思う。その進め方でよろしいか。

(「はい」という声あり)

ではそのように進めさせていただく。市民一日議会の振り返りについては以上になる。

3. その他

三浦委員長

委員から何かあるか。

(「なし」という声あり)

では小寺書記から。

小寺書記

次の委員会の開催について。特になければ8月25日に9月定例会議前の議会運営委員会があり、その日の午後に。次は議会だよりV o 1. 63になるが12月1日発行を平成29年にはしていたので、それに向けて紙面をどうするかを打ち合わせる感じ。どこまで今の委員でやって、新しい委員になってどうするかは整理はしておこうと思うので、その点を踏まえて議論を持ちたい。時間はいかがでしょうか。

三浦委員長

予定どおり8月25日水曜日13時半から、こちらで委員会を開催するというところでよろしいか。

(「はい」という声あり)

日程が決まったので、ほかになければこれで終わりにしたいがよろしいか。

(「はい」という声あり)

では以上で議会広報広聴委員会を終了する。

[11時 16分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

議会広報広聴委員会委員長 三浦 大紀